

社会ニーズに応える地質地盤情報

— 都市平野部の地質地盤情報をめぐる最新の動向 —

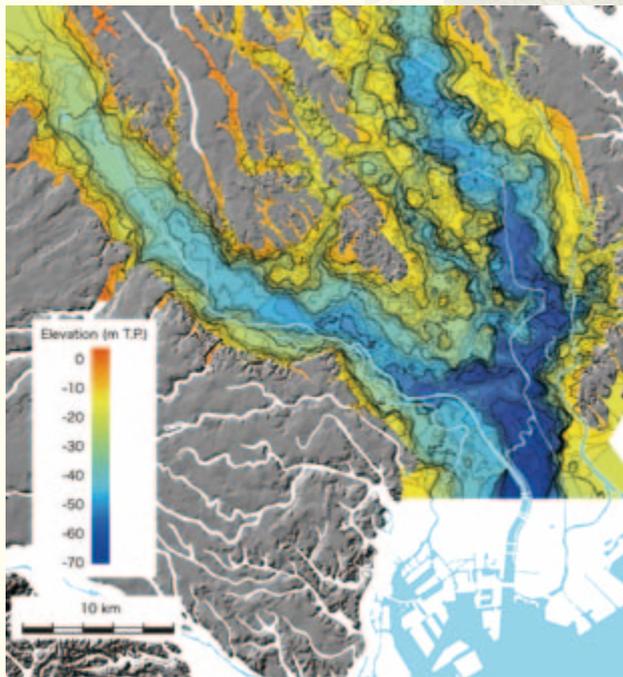
人口が密集し産業活動が活発な都市平野部において、その基盤となる地質地盤情報は安全・安心な社会活動にとって必須です。本シンポジウムでは、平野部の地質地盤研究の重要性を紹介するとともに、液状化現象、地形・地質・地盤情報の統合化、ボーリングデータの整備・活用に関する最新動向を報告し、社会ニーズに応える地質地盤情報について議論します。また、地質地盤情報に関するビジネス展開のデモンストレーションも合わせて行います。

2012年 **1月31日(火)**

13:00~17:20

日本大学文理学部 百周年記念館

主催：産業技術総合研究所 地質調査総合センター
 日本大学文理学部自然科学研究所
 産業技術連携推進会議 知的基盤部会 地質地盤情報分科会
 地質地盤情報協議会
 社団法人 全国地質調査業協会連合会



関東平野の地下構造モデル (提供：小松原純子氏、東京低地と中川低地は田辺ほか (2008) 地質調査研究報告による)

プログラム

第1部 (13:00-14:40)
 開会挨拶 山崎正和 (産業技術総合研究所理事・地質分野研究統括)

< 記念講演 >
 「平野部の地盤研究とその課題」 遠藤邦彦 (日本大学教授)

「地質地盤情報協議会の活動総括と産技連における今後の活動方針」
 栗本史雄 (地質地盤情報分科会・地質地盤情報協議会)

----- デモンストレーション (14:40-15:10) -----

第2部 (15:10-17:20)
 「地震時の液状化—流動化現象および地波現象とその実態」
 風岡 修 (千葉県環境研究センター)

「地形・地質情報図の標準化と地盤情報との統合化」
 尾崎正紀 (産業技術総合研究所 地質情報研究部門)

「地盤情報を有効活用した高知「ユビキタス(防災立国)」実証事業」
 中田文雄 (全国地質調査業協会連合会 情報化委員会)

総合討論

閉会挨拶「地質地盤情報の法整備を目指して—現状と今後の展開—」
 佃 栄吉 (産業技術総合研究所 地質分野副研究統括)

懇親会 (カフェテリア秋桜 文理学部内 3号館 1階)

デモンストレーション (14:40~15:10)

「OYO が提供する地盤の情報提供サービス「OYO Navi」」
 嶋尾敏郎 (応用地質株式会社 データベース事業部)

「住環境の地質・地盤情報と携帯ジョ情報」
 榎本義一 (株式会社ジオネット・オンライン)

「地質データ活用ソフトウェア GEORAMA とクラウド環境の取り組み」
 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

「三次元統合化システムによるボーリングデータの公開と地下地質情報の統合化」
 木村克己 (産業技術総合研究所)、根本達也 (大阪市立大)、
 大井昌弘 (防災科研)、花島裕樹 (筑波大学)

「地盤情報の活用—地熱エネルギー利用を考慮した地下水管理手法の開発への適用—」
 竹村貴人 (日本大学文理学部)、小松登志子 (埼玉大)、濱本昌一郎 (埼玉大)、
 大西純一 (埼玉大)、斎藤広隆 (東京農工大)、船引彩子 (日本大学文理学部)



会場：日本大学文理学部百周年記念館 (京王線下高井戸あるいは桜上水下車、徒歩8分)
 入場：無料
 定員：300名
 CPD：4.5単位
 参加お申し込み：地質調査総合センターの下記ウェブサイトからお申し込みください。

<http://www.gsj.jp/Event/gsjympo.html>

お問い合わせ：地質調査総合センターシンポジウム事務局
 gsjsympo19@m.aist.go.jp TEL:029-862-6034